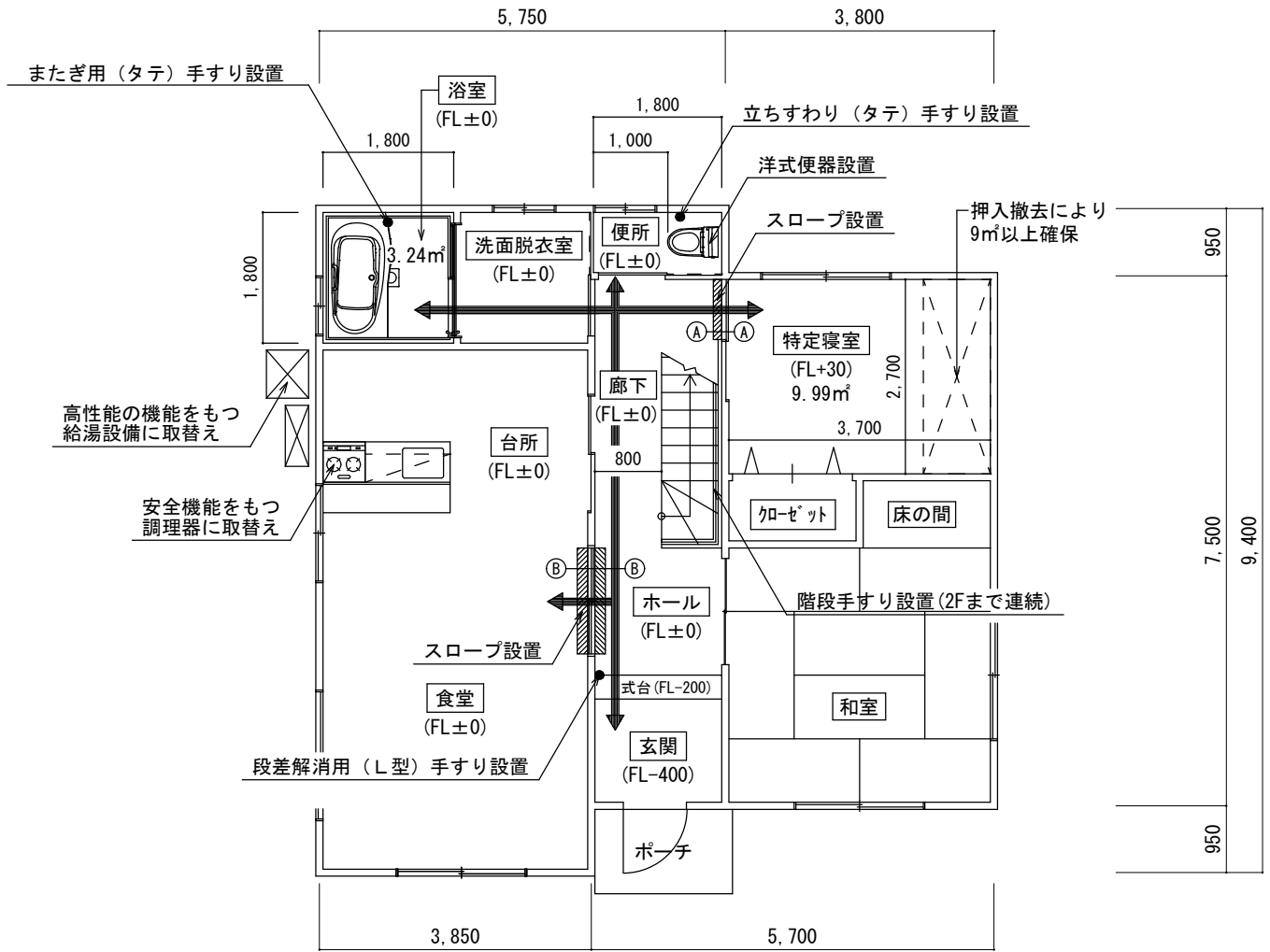
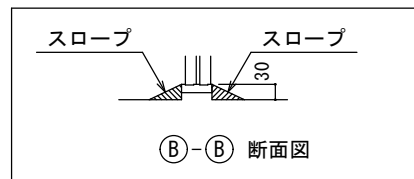
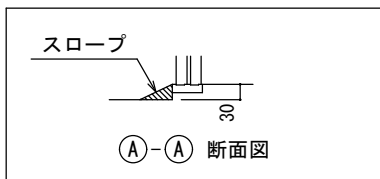


# 改修計画図 作成例 (バリアフリー改修)



改修後 1階平面図 (単位 : mm)



- 改修計画の平面図を提出してください。
- 整備基準に適合する対策を全て図示してください。
- 日常生活空間内に段差がある場合は、段差対策が必要です。(手すり・スロープ等設置)
- 5mm以下の段差は、「段差のない構造」とみなします。
- 特定寝室拡張のための解体費は、対象になります。
- 必要な寸法・面積・敷居高さ・床の高さは、全て図示してください。
- 手すり位置・スロープ位置は、全て図示してください。
- 浴室のまたぎ用手すり、トイレの立ちすわり用手すり、その他の段差解消用の手すりは、I型手すり(タテ設置)又はL型手すりの設置が原則です。
- 増築部分は床面積と面積根拠となる寸法を記載してください。
- 各室ごとに補助対象工事積算内訳書(見積り)を作成してください。(財団のフォーマットに記入)
- 完成後の各工事部分の写真が必要です。